

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

向寒の候、平素より本校教育に対し、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、4月に全国の6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。今回の結果から把握した各児童の学習や生活における実態をもとに、今後の指導内容や指導方法の改善・充実を図ってまいります。尚、これらの内容については、学校ホームページにも掲載します。

I 教科に関する調査

国語

| 全国学力・学習状況調査 本年度正答率 【国語】 | |
|-------------------------|-------|
| 本 校 | 74.0% |
| 広 島 県 | 69.0% |
| 全 国 | 66.8% |



重点課題

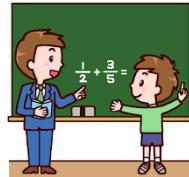
- 【話し合いの様子】における人物の発言を説明したものとして適切なものを選択することができる。
(問題1一 正答率: 本校 59.7%, 全国 53.3%)
- 【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択することができる。
(問題2一 正答率: 本校 59.7%, 全国 65.5%)
- 【話し合いの様子】の人物の発言の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択することができる。
(問題3三 (1) 正答率: 本校 50.7%, 全国 40.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- 国語科独特の言い回しを意識して、授業の中で使用するようとする。(例:「関連づける」「違いを明確にする」など)
- 日頃から正しい言葉を使うよう意識するとともに、あえて分かりやすい言葉に言い換えすぎないようにする。(例:「登場人物の気持ちを考えましょう。」⇒「登場人物の心情を捉えましょう。」)
- 資料が複数ある説明文などの読み取りにおいて、資料同士の関連を捉えて、文章にまとめる活動を設ける。

算数

| 全国学力・学習状況調査 本年度正答率 【算数】 | |
|-------------------------|-------|
| 本 校 | 60.0% |
| 広 島 県 | 59.0% |
| 全 国 | 58.0% |



重点課題

- 数直線上に示された数を分数で書くことができる。
(問題3(3) 正答率: 本校 31.3%, 全国 35.0%)
- ○%増量したものの内容量が、増加前の何倍かを選ぶことができる。
(問題4(4) 正答率: 本校 32.8%, 全国 40.9%)
- 設問に対する答えを式や言葉を使って説明することができる。
(問題1(2) 正答率: 本校 35.8%, 全国 31.0%) (問題2(4) 正答率: 本校 37.3%, 全国 37.0%) (問題3(2) 正答率: 本校 32.8%, 全国 23.0%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- 分数が表している場面を、視覚的(絵、図、数直線など)に表したり、言語化したりする。
- 問題を図に整理する活動に取り組む。
- 多くの情報の中のどこに着目したらよいのかを常に考えるよう習慣づける。
- 図形にわかっている情報を書き込んだり、式や文章を使って説明したりする活動を授業の中で増やす。
- グラフの見方を学び、算数科以外でも活用する機会を設ける。

全国学力・学習状況調査 本年度正答率 【理科】

| | |
|-------|-------|
| 本 校 | 62.0% |
| 広 島 県 | 59.0% |
| 全 国 | 57.1% |



重点課題

- 様々な金属について、電気を通すか、磁石に引き付けられるか、それぞれの性質に当てはまるものを選ぶことができる。
(問題2(1) 正答率: 本校 13.4%, 全国 10.6%)
- 対象物を顕微鏡で観察するとき、適切な像にするための顕微鏡の操作を選ぶことができる。
(問題3(2) 正答率: 本校 44.8%, 全国 45.6%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法

- 前年度の学習や生活体験を結び付けながら学習に取り組む。
- 実験や観察等で行う操作の意図を確認しながら学習に取り組む。

2 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（主なもの）

- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか。「肯定的回答」
(本校: 95.6% 全国: 93.0%)
- 自分には、よいところがあると思うか。「肯定的回答」
(本校: 92.7% 全国: 86.9%)
- 朝食を毎日食べているか。「肯定的回答」
(本校: 98.6% 全国: 93.7%)
- △ 将来の夢や目標を持っているか。「肯定的回答」
(本校: 76.8% 全国: 83.1%)
- △ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）の1日当たりの勉強時間「0～60分」
(本校: 58.0% 全国: 46.0%)
- △ 土曜日や日曜日などの学校が休みの日の1日当たりの勉強時間「0～60分」
(本校: 88.4% 全国: 78.3%)
- △ 自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思うか。
(本校: 87.0% 全国: 89.8%)
- △ 算数：言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題、理科：解答を文章などで書く問題にどのように解答したか。「解答しなかったり、解答を途中であきらめたりしたものがあった」
(算数: 本校: 20.3% 全国: 21.9%) (理科: 本校: 14.5% 全国: 14.9%)
- △ 解答時間は十分だったか。「時間が余った」
(算数: 本校: 62.3% 全国: 54.7%) (理科: 本校: 95.7% 全国: 81.6%)

【今後の取組】



- 総合的な学習の時間や学活の時間に、自分を見つめたり、いろいろな職業に触れたりする機会を設ける。
- 宿題+自主学習のスタイルを確立し、自分で苦手なところやもっと深く学びたいところなどを自分で決める学習方法を教え、集中して取り組む指導をする。また、それを実践する機会を設ける。
- 自分の伝えたいことやまとめたいことに合わせ、情報や資料を集め、それを用いて発表する経験を少しずつさせていく。
- 情報過多の問題や生活とつながる問題などの活用題に取り組ませる。
- 問題の解き直し方や、わかるまで根気強く何度も読んだり、印を書いてメモを加えたりするなどの問題の読み取り方を指導する。

学校では、これらの結果を受け、よりよい学校教育に向け、全教職員で共通理解を図りながら取組を進めてまいります。改善に向け、学校だけでなく、家庭・地域社会がそれぞれの適切な役割を果たしつつ、連携・協働した取組が行われることが重要です。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。